

『 **AVIS-Connect** 』のご紹介

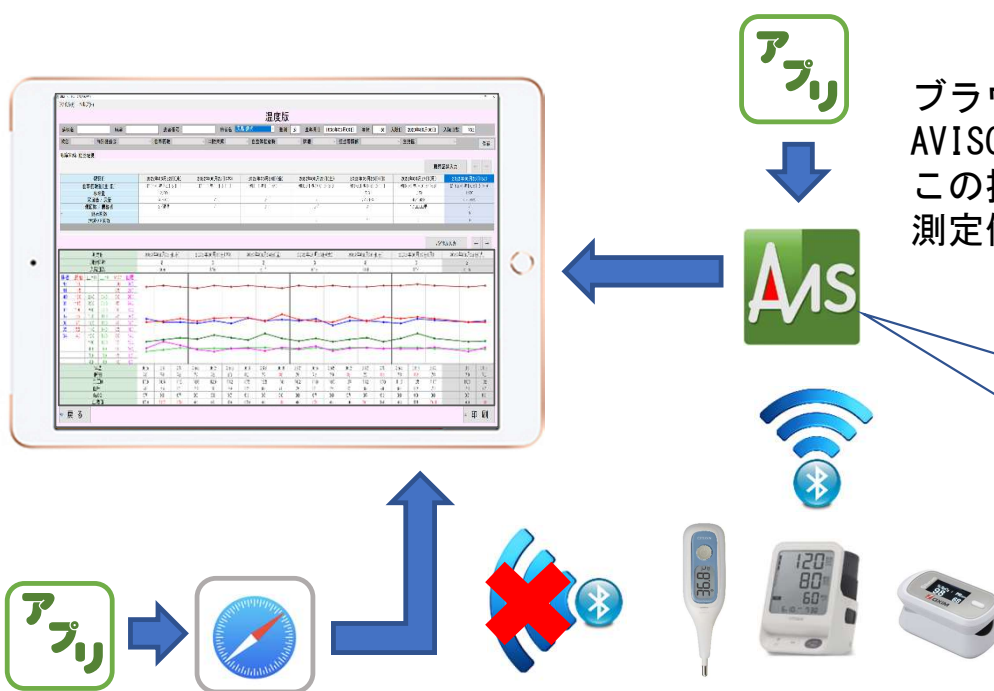




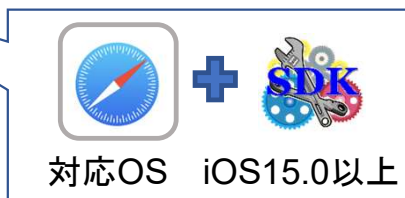
AVIS-Connect

新しいAVISの可能性

iOSで動くSDK内蔵WEB型ツール



ブラウザ型アプリはAVISConnectで稼働させます。
AVISConnectはsafariをベースにSDKを組み込んだ新技術です。
この技術によってJavaScriptを用いてBluetooth機器からの
測定値の受け取りが可能になりました。



Bluetooth機器の追加は
アクティブエイジで随時
更新していきます。

通常ではブラウザ型アプリはsafariを使って動きます。
そのためBluetooth機器との通信が出来ないので手入力
が主流となっています。



SDKでのご提供も可能です。
お気軽にご相談ください。

『 AVIS-Connect 』とは？

■ AVIS Connectとは？

AVIS Connectは、Bluetoothデバイスの制御機能とコール用APIを実装したブラウザです。ブラウザはウェブサイトの閲覧やウェブアプリケーションを動作させるソフトウェアですが、正しくは「ウェブブラウザ」と言い、代表的なものにApple社の「iOS／MacOS」に標準搭載される『Safari』、Microsoft社の『Edge』、Google社の『Chrome』等がお馴染みのことと思います。

■ どうしてAVIS Connectが必要？

タブレットやスマートフォンのようなモバイル機器では外付けのUSBデバイスを用いた運用は基本的には行われません。

しかし昨今、クラウドシステムに見られるように、モバイル機器上で運用されるシステムが増えており、アプリケーションソフトの形態も、インストールの手間がなくブラウザ上で利用できるウェブアプリが多く見られるようになりました。

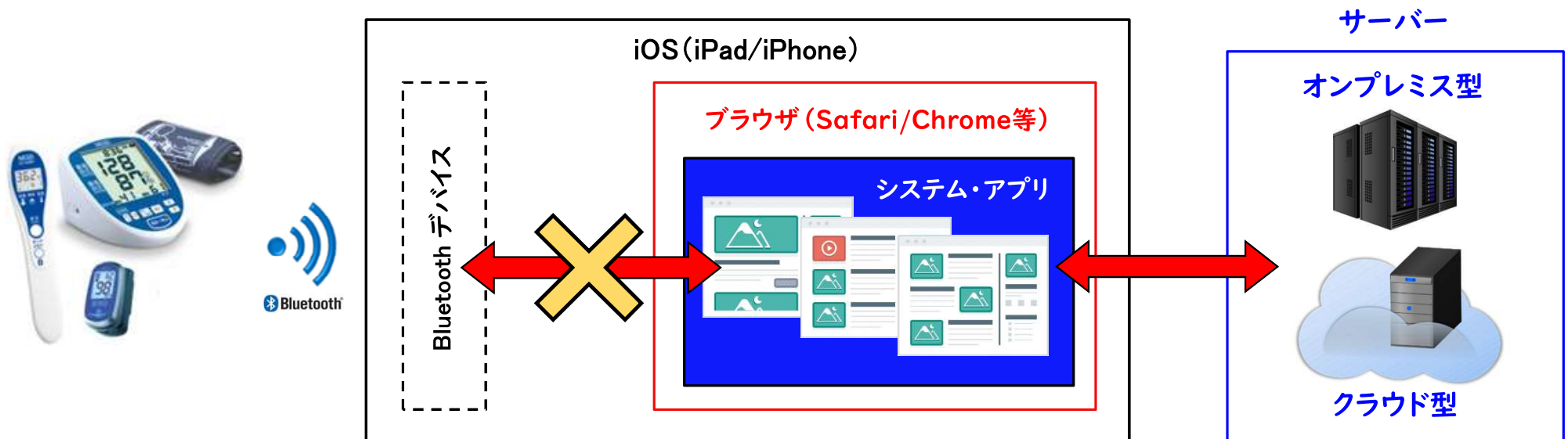
電子カルテや介護システムも例外ではなく、タブレットやスマートフォンで運用されるブラウザアプリ形態のシステムが今後増々市場に浸透して行くのは間違いありません。

このような市場の変化に対応するため、AVISはUSBデバイス型からブラウザ型へと進化します。

通常ブラウザで運用するデメリット

■Bluetoothデバイスへのアクセス

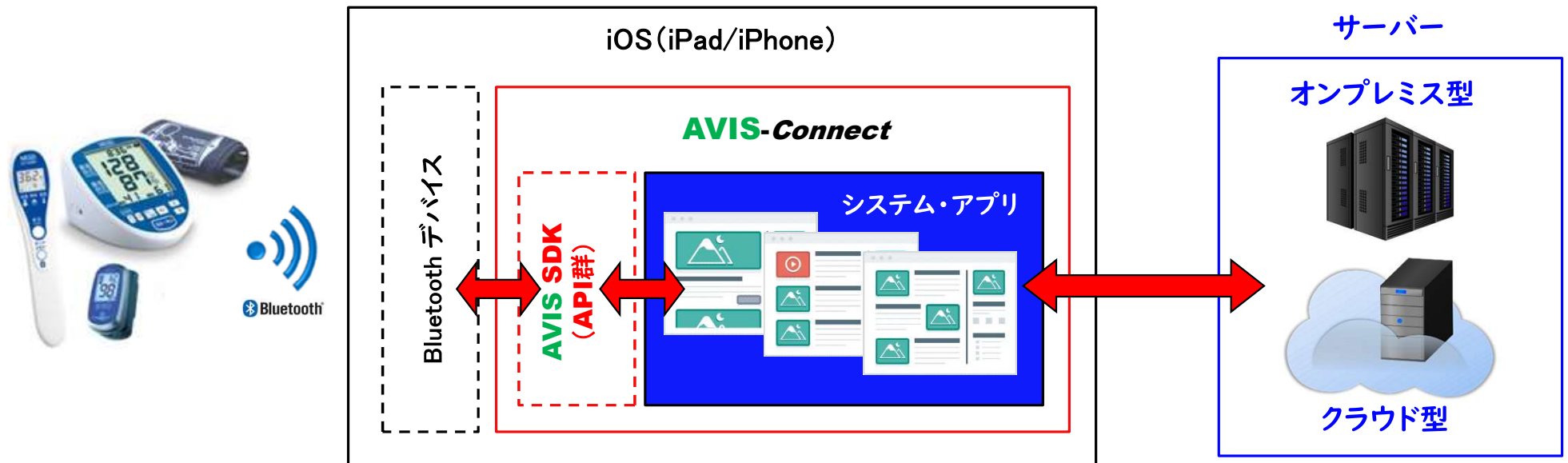
通常、Webブラウザ上で運用するアプリは直接ハードウェア・デバイスへのアクセスは出来ません。つまり、WebアプリはBluetoothデバイスと直接データの送受信が出来ないため、Webブラウザ上で稼働するシステムはバイタル連携の仕組みを利用することが出来ません。



『 AVIS-Connect 』 で運用するメリット

■ Bluetoothデバイスへのアクセス

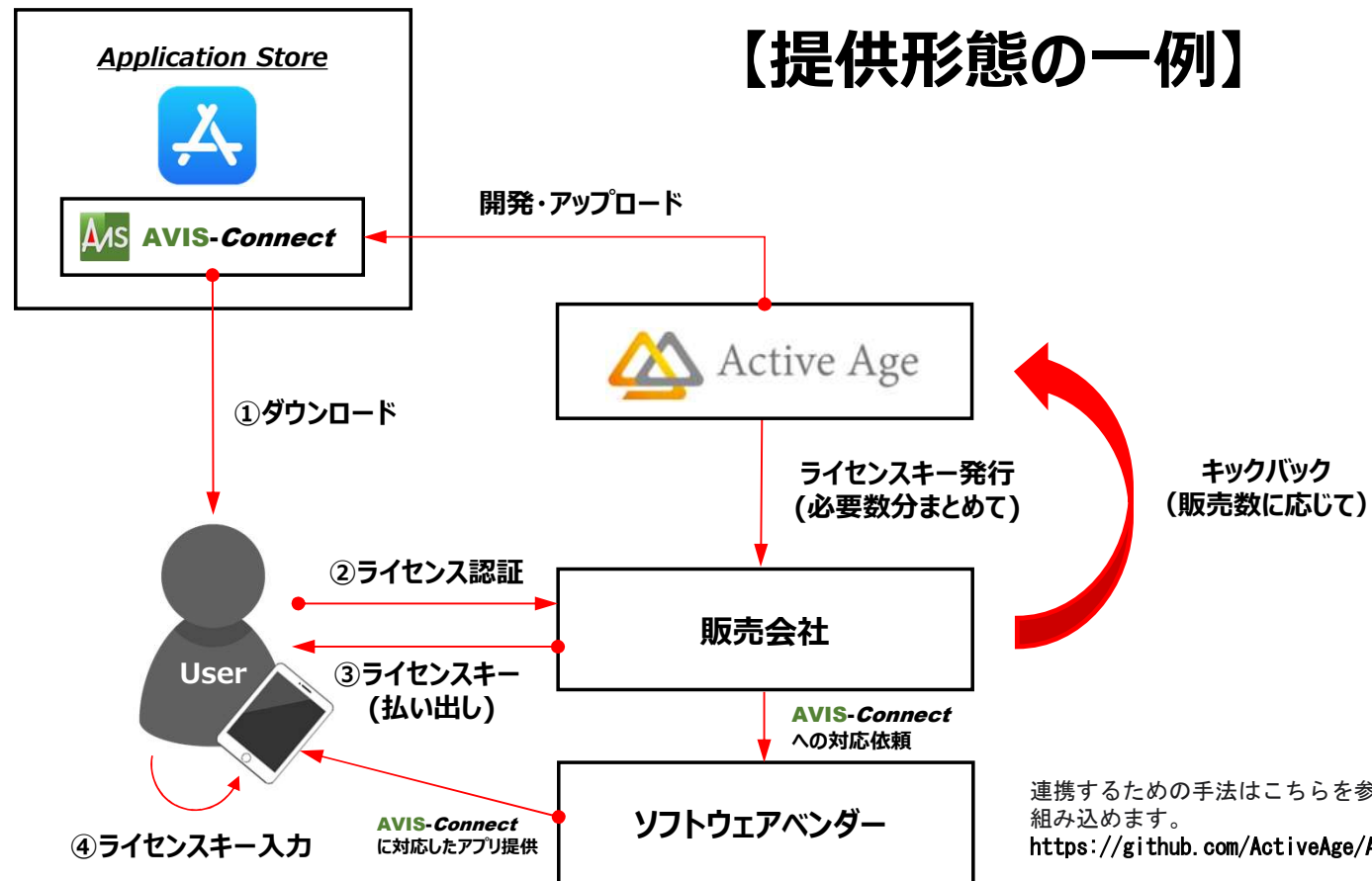
AVIS Connectは、内部にBluetoothデバイスを制御するSDKを内蔵しており、ウェブアプリに対し必要なAPI群を提供することでBluetoothデバイスからのデータ送受信を可能にしました。この仕組みでWebブラウザ上で稼働するシステムもバイタル連携の仕組みを実装できます。



連携するための手法はこちらを参考に容易に組み込めます。
<https://github.com/ActiveAge/AVIS-Connect>



『 AVIS-Connect 』 提供形態について



AVIS-Connect 対応バイタル機器

CITIZEN



腋窩体温計
CTEB724AA



上腕式血圧計
CHUH908-AA



手首式血圧計
CHWH907-AA

NIPRO



非接触体温計
NT-100B



医用電子血圧計
NMBP-01



体組成計
NBCM



血糖測定器
FS Next

NISSEI



非接触体温計
MT-550BT



上腕式血圧計
DS-S10M



手首式血圧計
WS-M50BT



SpO2
BO-750BT

OXiM



SpO2
S-127

Roche



Accu-Chek
Guide One

AND



全自動血圧計&オプション
TM-2657W TM2657-04

※Bluetooth機器の追加はアクティブエイジで随時更新していきます。



Active Age

